

キラリ米久留米

輝く、人・まち。



**平成27年度
市政アンケートモニター「くるモニ」**

第7回

**「食と農への理解促進、
地域包括支援センター利用促進」
アンケート調査結果**

久留米市

平成28年5月

目 次

I	調査の目的	1
II	調査の方法	1
III	調査項目	1
IV	調査結果	1
1	回答者の属性	1
(1)	性別	1
(2)	年齢	2
(3)	地域ブロック	2
(4)	職業	3
2	久留米市が県内で最も農業が盛んな農業都市だと知っていたか	4
3	『リーフレタス』『くるめ米』を知っていたか	5
4	『リーフレタス』のブランド化の取り組みを知っていたか	6
5	農産物等に表示している『キラリ久留米』『くるっば』を見たことがあるか	7
6	久留米産農産物を意識して食べているか	8
7-1	「地産地消推進店」を知っていたか	9
7-2	「地産地消推進店」を利用したことがあるか	10
8	田や畑の多面的機能について知っていたか	11
9	多面的機能の維持・保全に取り組むことは重要だと思うか	12
10	「食育」という言葉や意味を知っていたか	13
11-1	「食育」に関心があるか	14
11-2	「食育」に関心がない理由	15
12	主食・主菜・副菜をそろえて食べることが、週に何回あるか	16
13-1	地域包括支援センターを知っていたか	17
13-2	地域包括支援センターをどこで知ったか	18
13-3	校区の地域包括支援センターがある場所を知っていたか	19
14-1	地域包括支援センターを利用したことがあるか	20
14-2	地域包括支援センターを利用した目的	21
14-3	地域包括支援センターの利用頻度	22
14-4	地域包括支援センターを利用しなかった理由	23
V	使用したアンケート調査票	24

I 調査の目的

このアンケート調査は、市民の皆さまに、市政への関心を高め理解を深めていただくとともに、市政に関する意向やニーズを把握し、市の施策推進の参考データとして活用することを目的としています。

II 調査の方法

- 1 調査地域・・・久留米市全域
- 2 調査対象者・・・久留米市に在住する満20歳以上の中から選任された
市政アンケートモニター「くるモニ」
- 3 サンプル数・・・310
- 4 選任方法・・・住民基本台帳からの無作為抽出（承諾有）
- 5 実施方法・・・インターネットまたは郵送
- 6 調査期間・・・平成28年2月12日（金）～平成28年3月13日（日）
- 7 回収数（率）・・・255（82.3%）

III 調査項目

■ 食と農への理解促進、地域包括支援センター利用促進

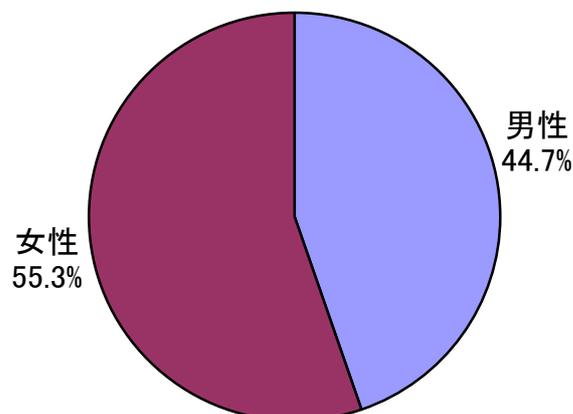
農業や農産物、食育に関する認知度・意識、地域包括支援センターの認知度・利用状況を把握するために、調査を行いました。

IV 調査結果

1 回答者の属性

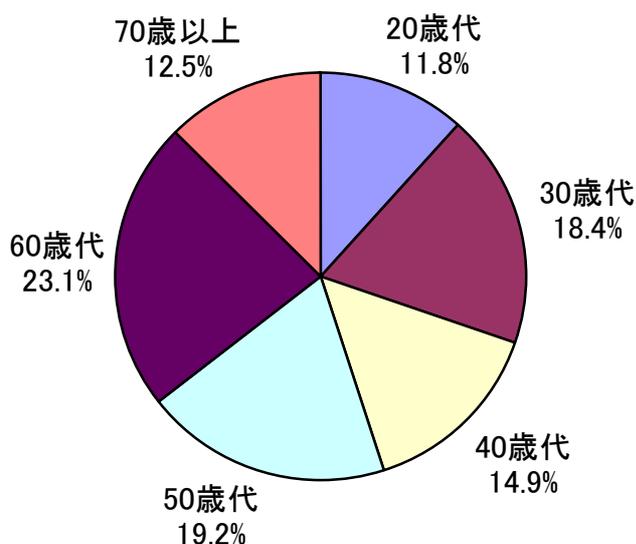
(1) 性別

区分	件数	割合
男性	114	44.7%
女性	141	55.3%
合計	255	100%



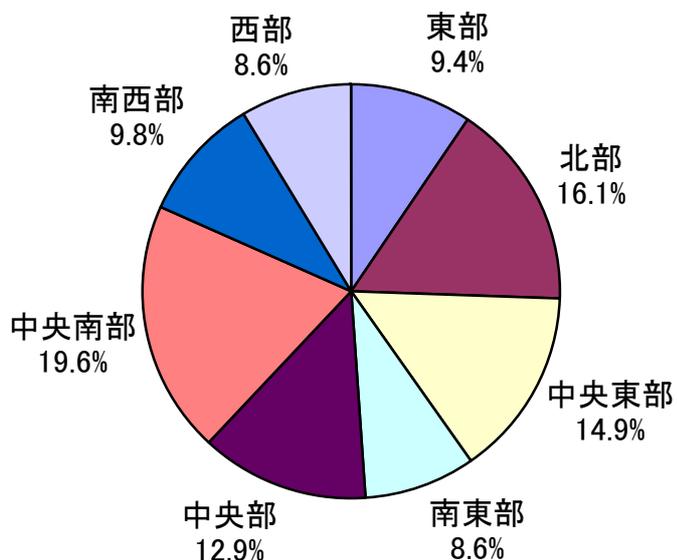
(2) 年 齢

区分	件数	割合
20歳代	30	11.8%
30歳代	47	18.4%
40歳代	38	14.9%
50歳代	49	19.2%
60歳代	59	23.1%
70歳以上	32	12.5%
合計	255	100%



(3) 地域ブロック

区 分	件数	割合
東 部	24	9.4%
北 部	41	16.1%
中央東部	38	14.9%
南東部	22	8.6%
中央部	33	12.9%
中央南部	50	19.6%
南西部	25	9.8%
西 部	22	8.6%
合 計	255	100%

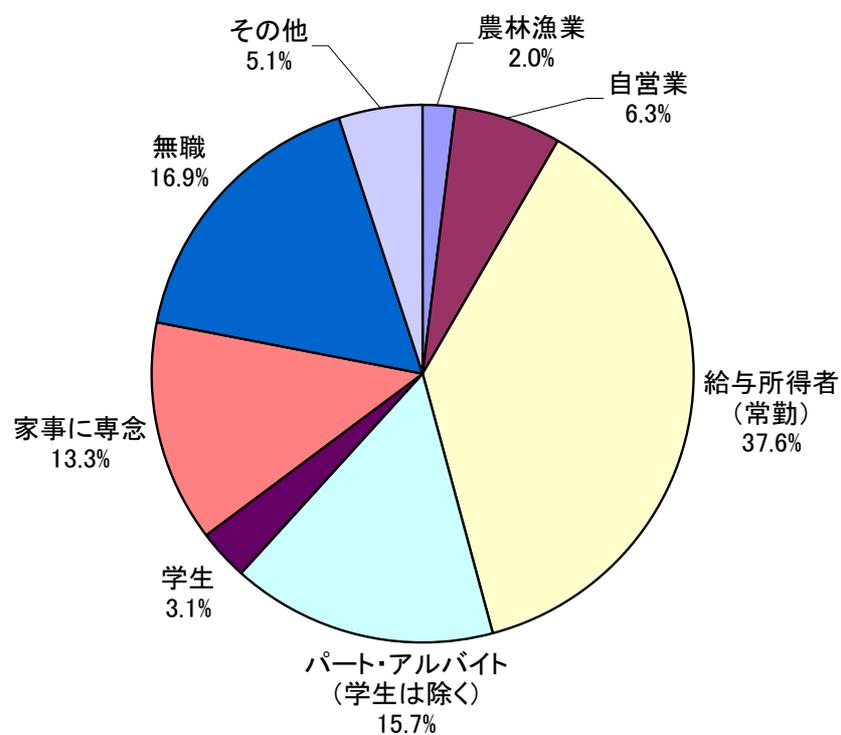


<ブロック別校区>

ブロック	校 区
東 部	山川、山本、草野、善導寺、大橋、船越、水分、柴刈川会、竹野、水縄、田主丸
北 部	小森野、合川、宮ノ陣、北野、弓削、大城、金島
中央東部	西国分、東国分、御井
南東部	上津、高良内、青峰
中央部	荘島、日吉、篠山、京町、南薫、長門石
中央南部	鳥飼、金丸、南、津福
南西部	荒木、大善寺、安武
西 部	城島、下田、青木・浮島、江上、犬塚、三瀨、西傘田

(4) 職業

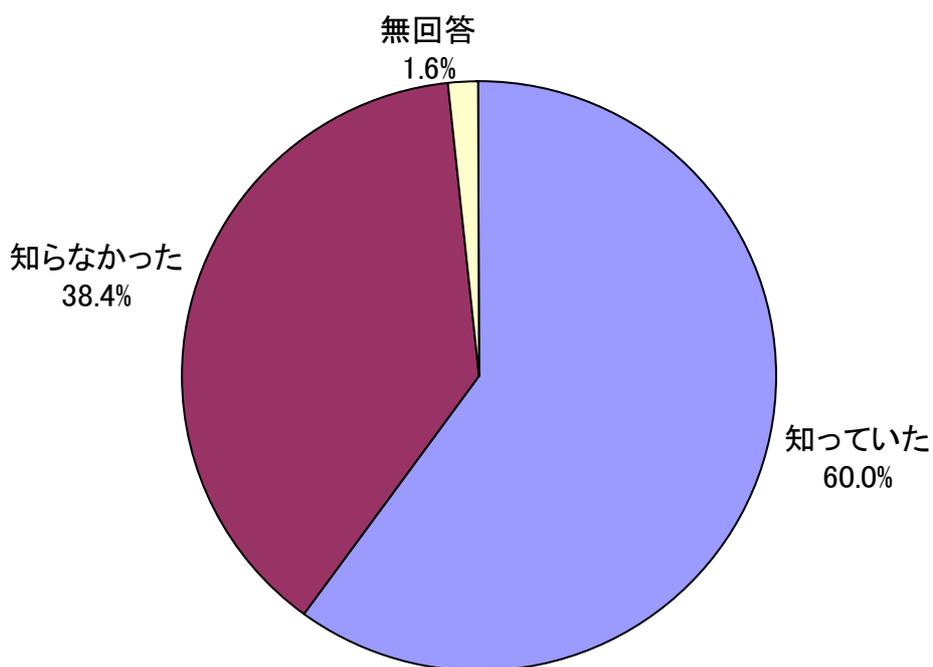
区分	件数	割合
農林漁業	5	2.0%
自営業	16	6.3%
給与所得者(常勤)	96	37.6%
パート・アルバイト (学生は除く)	40	15.7%
学生	8	3.1%
家事に専念	34	13.3%
無職	43	16.9%
その他	13	5.1%
合計	255	100%



2 久留米市が県内で最も農業が盛んな農業都市だと知っていたか

問1 (単一選択)

久留米市は、米麦大豆をはじめ、野菜、花き、植木・苗木、畜産など多様な農業が営まれており、県内で最も農業が盛んな農業都市であることを、あなたは「くるモ二」に参加する前から知っていましたか。



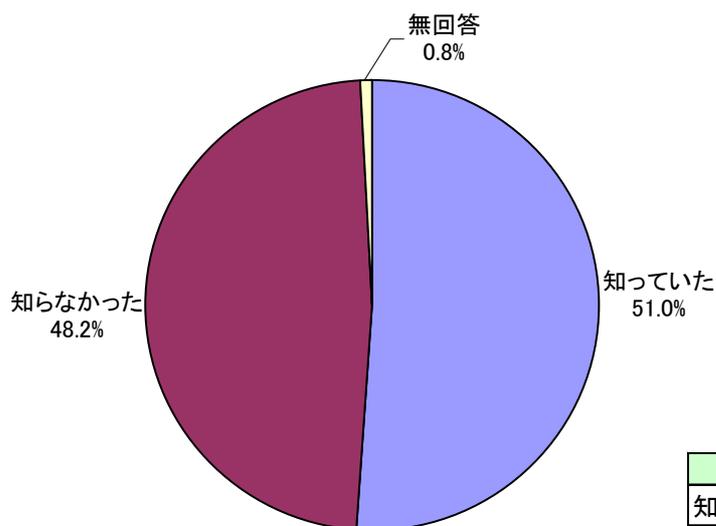
項目	回答数(人)	割合(%)
知っていた	153	60
知らなかった	98	38.4
無回答	4	1.6
合計	255	100

3 『リーフレタス』『くるめ米』を知っていたか

問2 (単一選択)

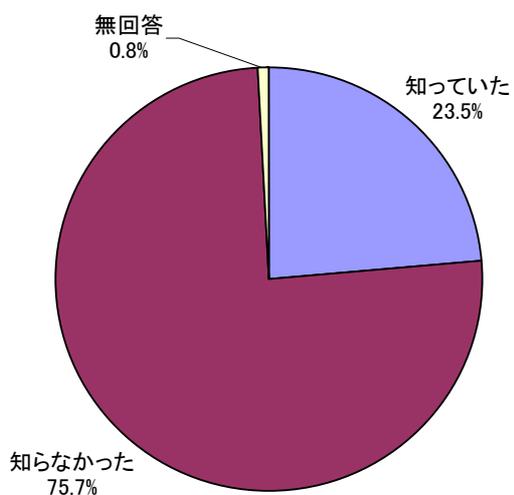
あなたは、久留米市がブランド化に取り組んでいる『リーフレタス』や『くるめ米』について、「くるモニ」に参加する前から知っていましたか。

(A) 『リーフレタス』を知っていましたか



項目	回答数(人)	割合 (%)
知っていた	130	51
知らなかった	123	48.2
無回答	2	0.8
合計	255	100

(B) 『くるめ米』を知っていましたか

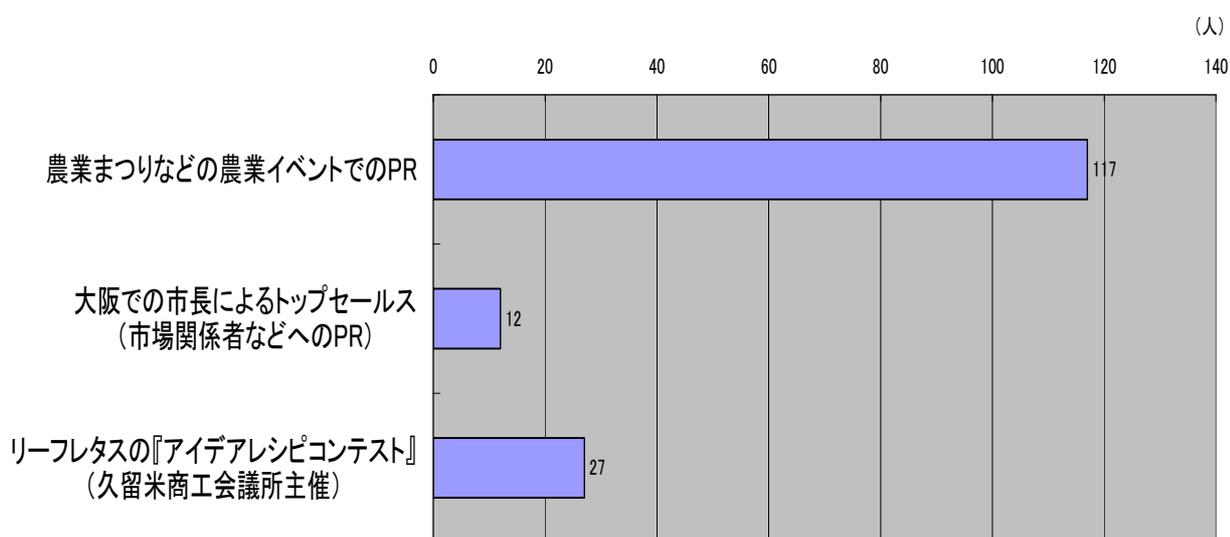


項目	回答数(人)	割合 (%)
知っていた	60	23.5
知らなかった	193	75.7
無回答	2	0.8
合計	255	100

4 『リーフレタス』のブランド化の取り組みを知っていたか

問3（複数選択無制限）

本市では久留米産農産物のうち、全国有数の産地である『リーフレタス』について、平成26年度よりブランド化の取り組みを推進しています。次の中で、『リーフレタス』のブランド化の取り組みについて、あなたが「くるも二」に参加する前から知っていたものはありますか。



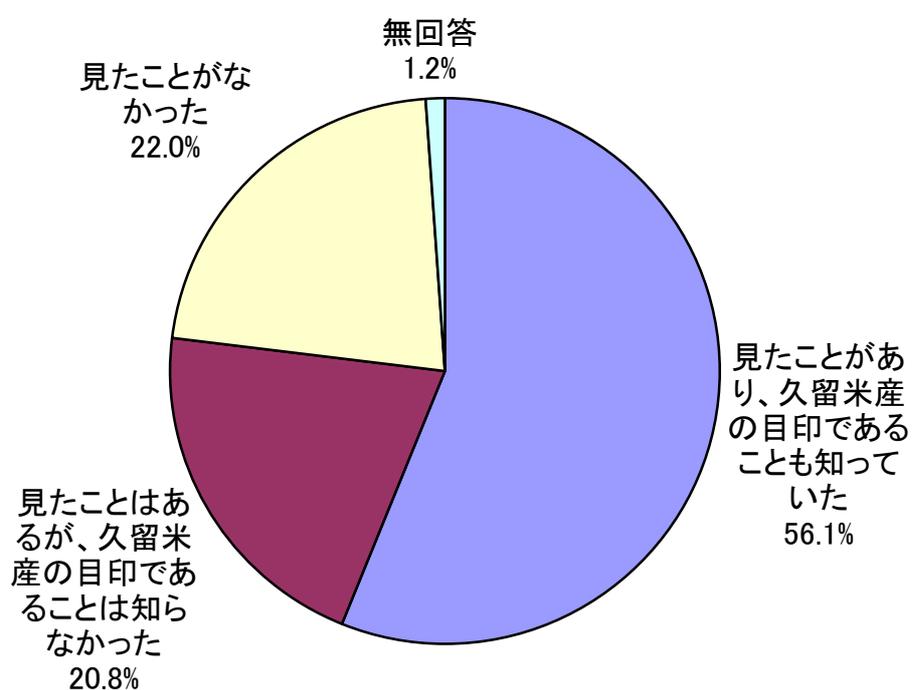
区分	件数	割合
農業まつりなどの農業イベントでのPR	117	45.9
大阪での市長によるトップセールス (市場関係者などへのPR)	12	4.7
リーフレタスの『アイデアレシピコンテスト』 (久留米商工会議所主催)	27	10.6
無回答	122	47.8
全 体	255	100

5 農産物等に表示している『キラリ久留米』や『くるっぱ』を見たことがあるか

問4（単一選択）

『キラリ久留米』や『くるっぱ』のロゴマークを農産物や農産加工品の包装資材等に表示し、久留米産農産物の認知度向上、ブランド化に取り組んでいます。

あなたは、農産物や農産加工品に表示している『キラリ久留米』または『くるっぱ』を、『くるモニ』に参加する前から見たことがありましたか。

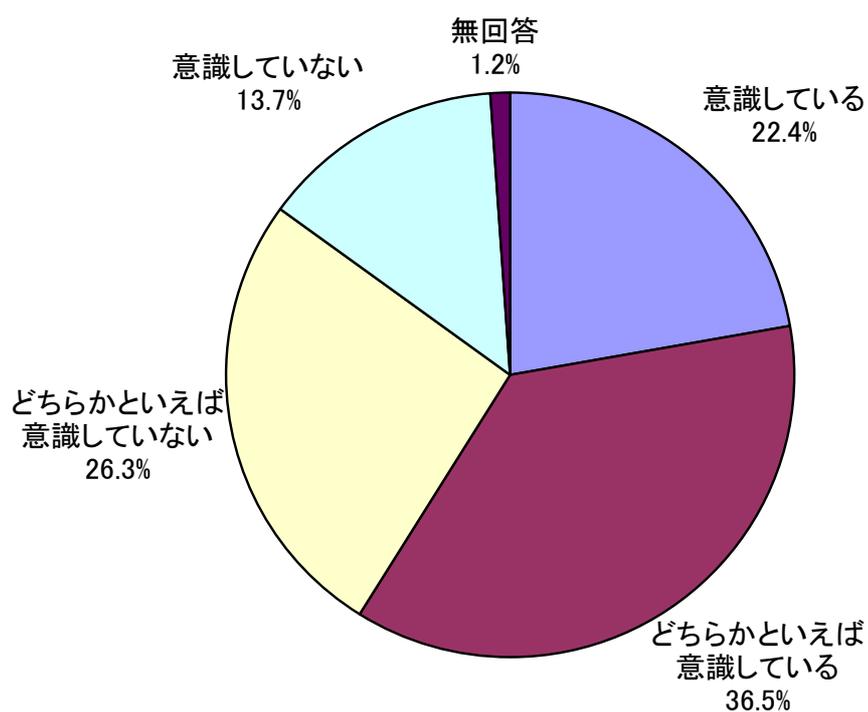


項目	回答数(人)	割合(%)
見たことがあり、久留米産の目印であることも知っていた	143	56.1
見たことはあるが、久留米産の目印であることは知らなかった	53	20.8
見たことがなかった	56	22
無回答	3	1.2
合計	255	100

6 久留米産農産物を意識して食べているか

問5（単一選択）

あなたは、日常の食生活で久留米産農産物を食べるように意識していますか。

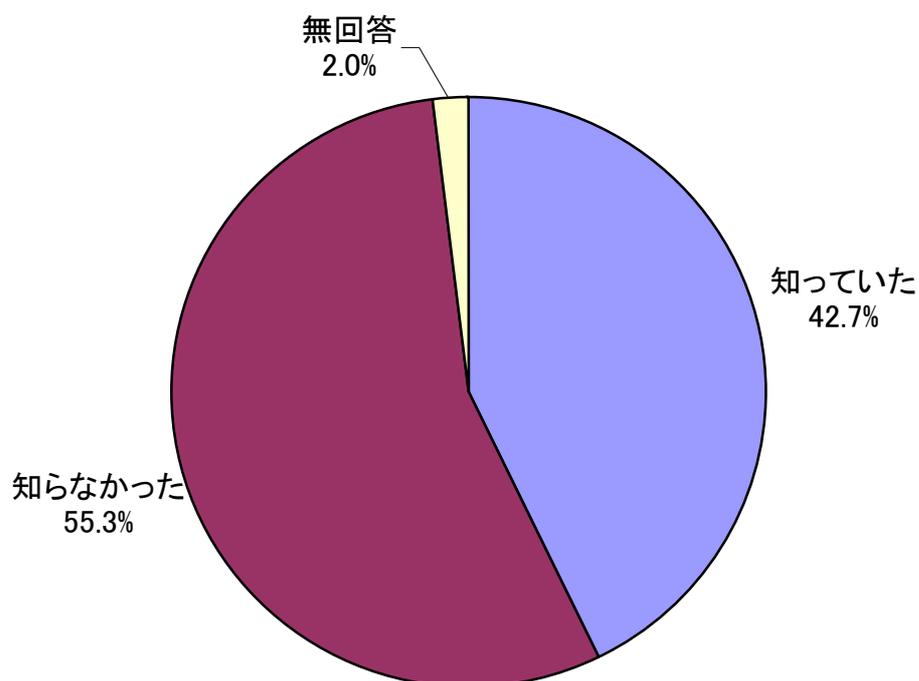


項目	回答数(人)	割合(%)
意識している	57	22.4
どちらかといえば意識している	93	36.5
どちらかといえば意識していない	67	26.3
意識していない	35	13.7
無回答	3	1.2
合計	255	100

7-1 「地産地消推進店」を知っていたか

問6（単一選択）

久留米市では、市民の皆さんが身近なところで地産地消に取り組める機会を増やすために、「地産地消推進店」を募集・登録し、パンフレットなどでお知らせしています。あなたは、「くるモニ」に参加する前から「地産地消推進店」を知っていましたか。

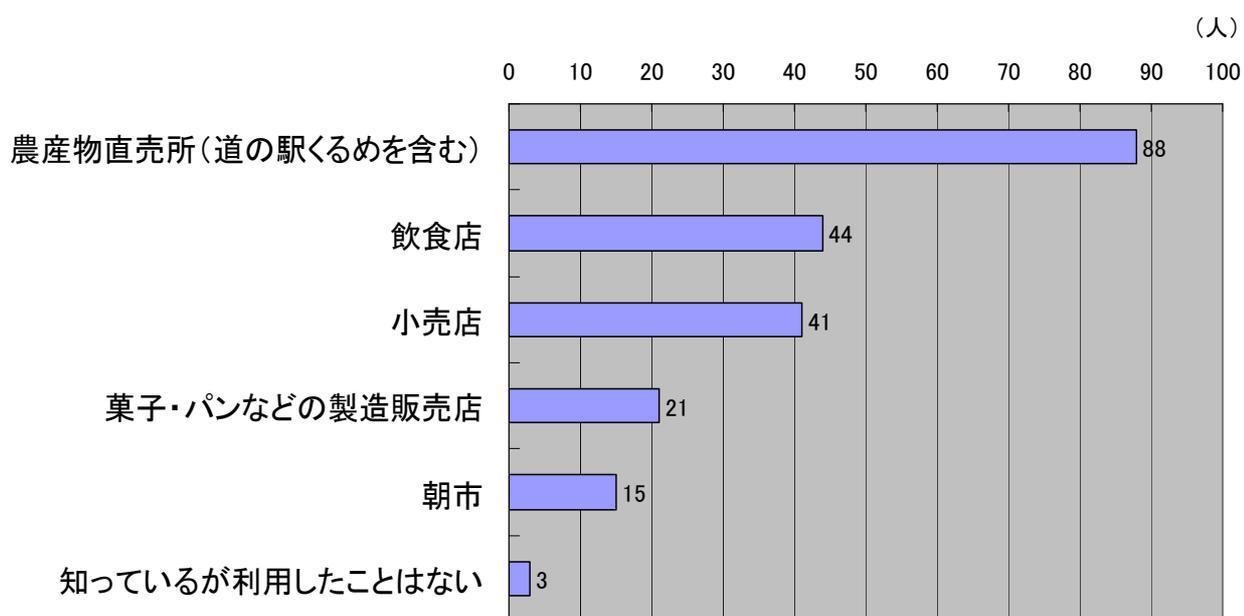


項目	回答数(人)	割合(%)
知っていた	109	42.7
知らなかった	141	55.3
無回答	5	2
合計	255	100

7-2 「地産地消推進店」を利用したことがあるか

問6付問（複数選択無制限）

問6で「知っていた」と回答された方についておたずねします。
利用したことがある「地産地消推進店」を教えてください。

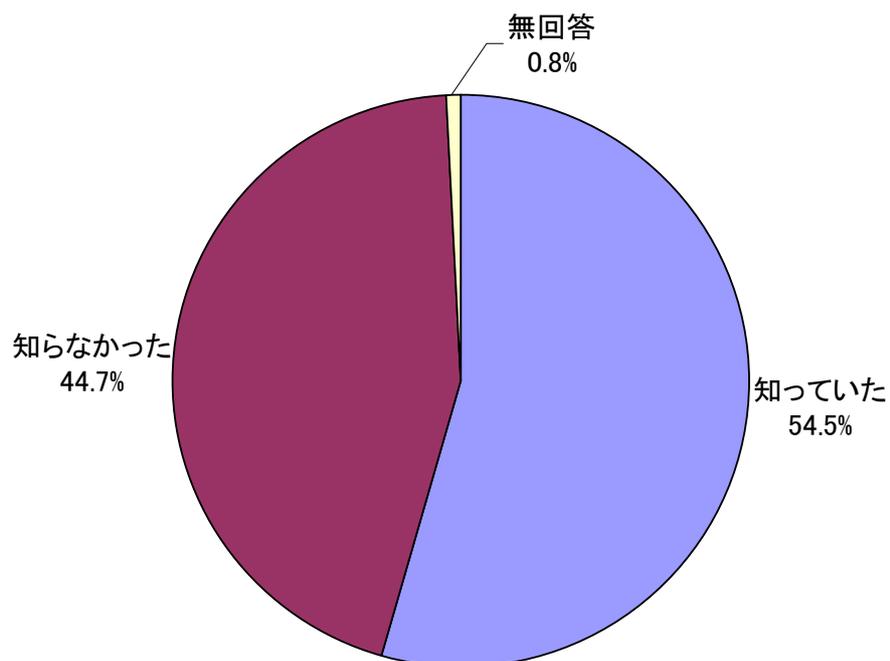


区分	件数	割合
農産物直売所(道の駅くるめを含む)	88	34.5
飲食店	44	17.3
小売店	41	16.1
菓子・パンなどの製造販売店	21	8.2
朝市	15	5.9
知っているが利用したことはない	3	1.2
全 体	255	100

8 田や畑の多面的機能について知っていたか

問7（単一選択）

田んぼや畑には、洪水を防止する、暑さをやわらげる、多くの生物を育むなどの多面的機能（農業・農村の多面的機能）があることを、あなたは「くるも二」に参加する前から知っていましたか。

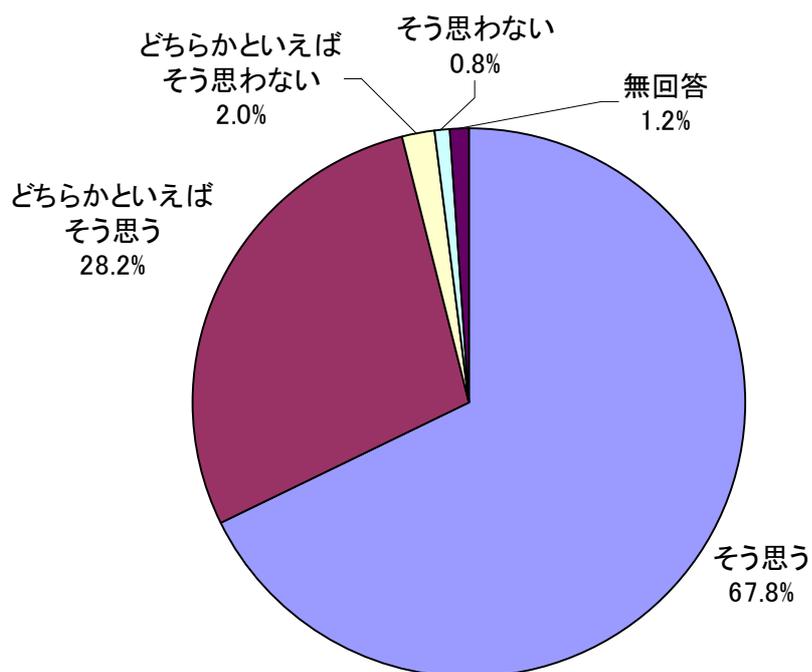


項目	回答数(人)	割合(%)
知っていた	139	54.5
知らなかった	114	44.7
無回答	2	0.8
合計	255	100

9 多面的機能の維持・保全に取り組むことは重要だと思うか

問8（単一選択）

久留米市が、これらの多面的機能を維持・保全するための政策に取り組むことは重要だと思いますか。

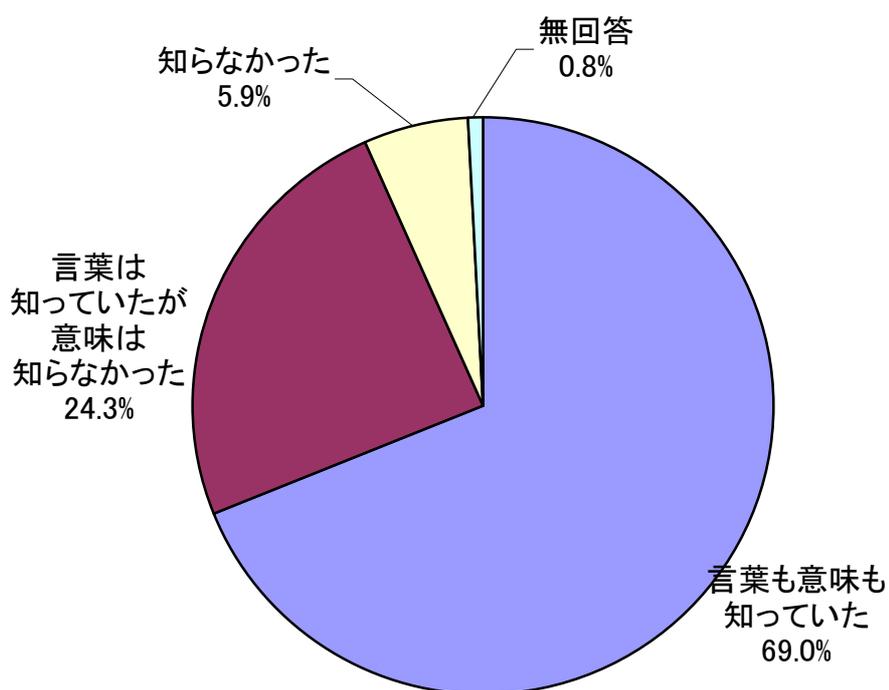


項目	回答数(人)	割合(%)
そう思う	173	67.8
どちらかといえばそう思う	72	28.2
どちらかといえばそう思わない	5	2
そう思わない	2	0.8
無回答	3	1.2
合計	255	100

10 「食育」という言葉や意味を知っていたか

問9（単一選択）

あなたは、「食育」という言葉やその意味を、「くるも二」に参加する前から知っていましたか。

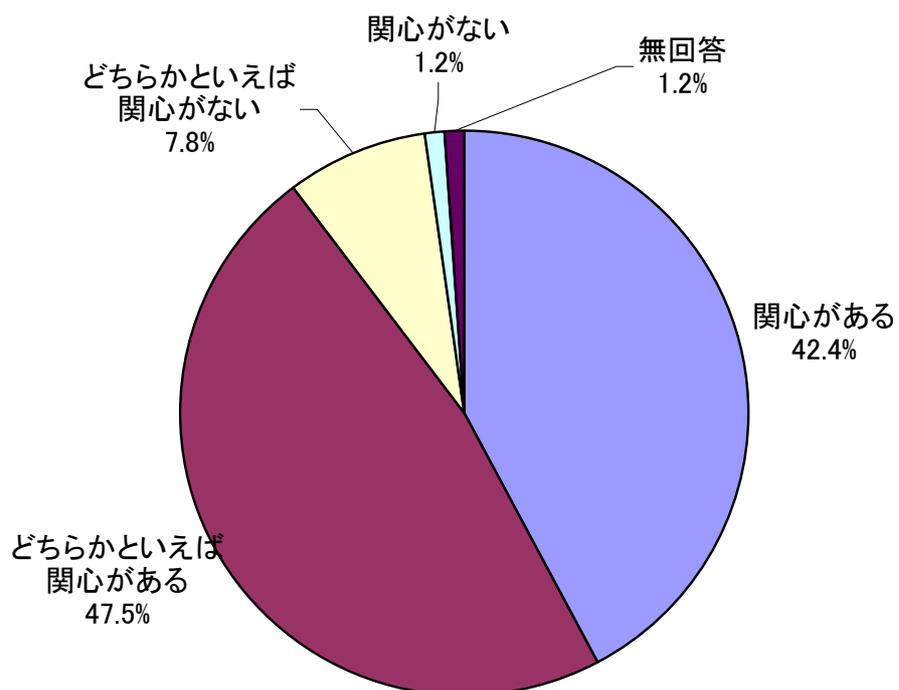


項目	回答数(人)	割合(%)
言葉も意味も知っていた	176	69
言葉は知っていたが、意味は知らなかった	62	24.3
知らなかった	15	5.9
無回答	2	0.8
合計	255	100

11-1 「食育」に関心があるか

問10（単一選択）

あなたは、「食育」に関心がありますか。

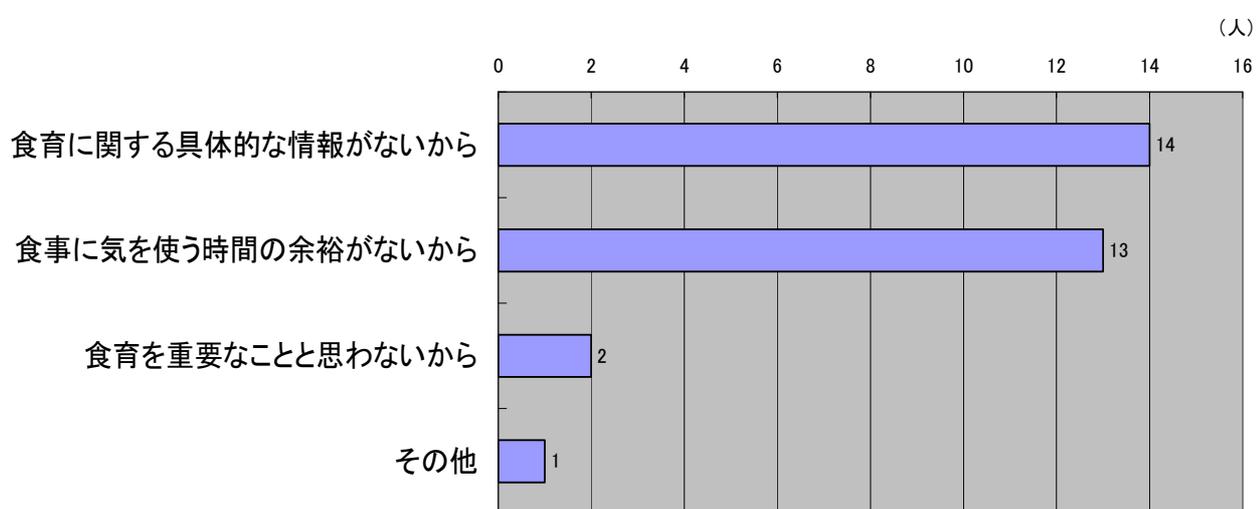


項目	回答数(人)	割合(%)
関心がある	108	42.4
どちらかといえば関心がある	121	47.5
どちらかといえば関心がない	20	7.8
関心がない	3	1.2
無回答	3	1.2
合計	255	100

11-2 「食育」に関心がない理由

問10付問（単一選択）

問10で「どちらかといえば関心がない」「関心がない」と回答された方におたずねします。関心がない理由を教えてください。

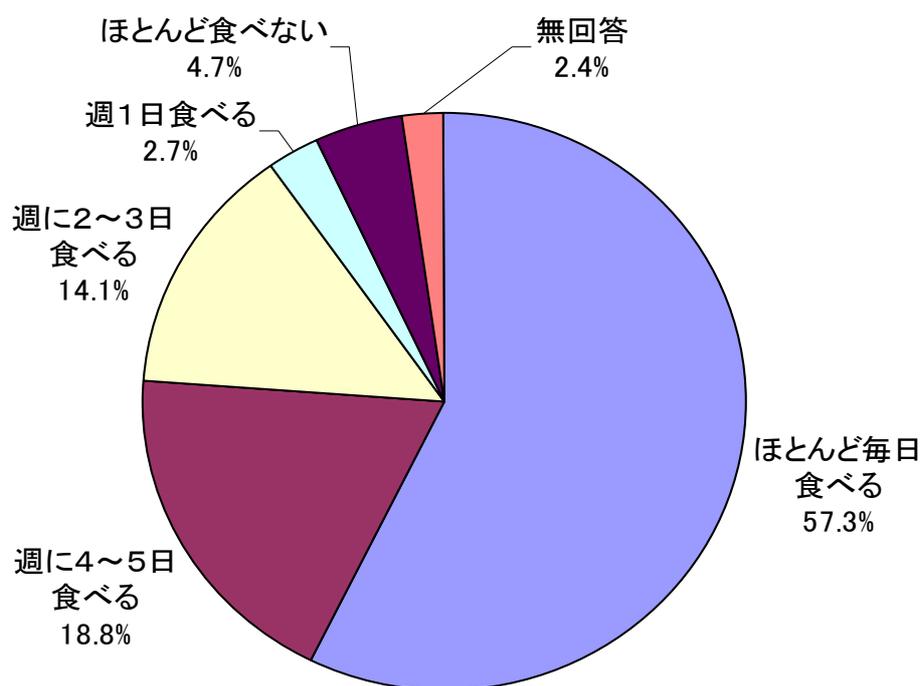


区分	件数	割合
食育に関する具体的な情報がないから	14	5.5
食事に気を使う時間の余裕がないから	13	5.1
食育を重要なことと思わないから	2	0.8
その他	1	0.4
全 体	255	100

12 主食・主菜・副菜をそろえて食べるのが、週に何回あるか

問11（単一選択）

市では栄養バランスの良い健全な食生活を実践する食育を推進しています。あなたは、1日に2回以上、主食・主菜・副菜をそろえて食べるのが、週に何回ありますか。

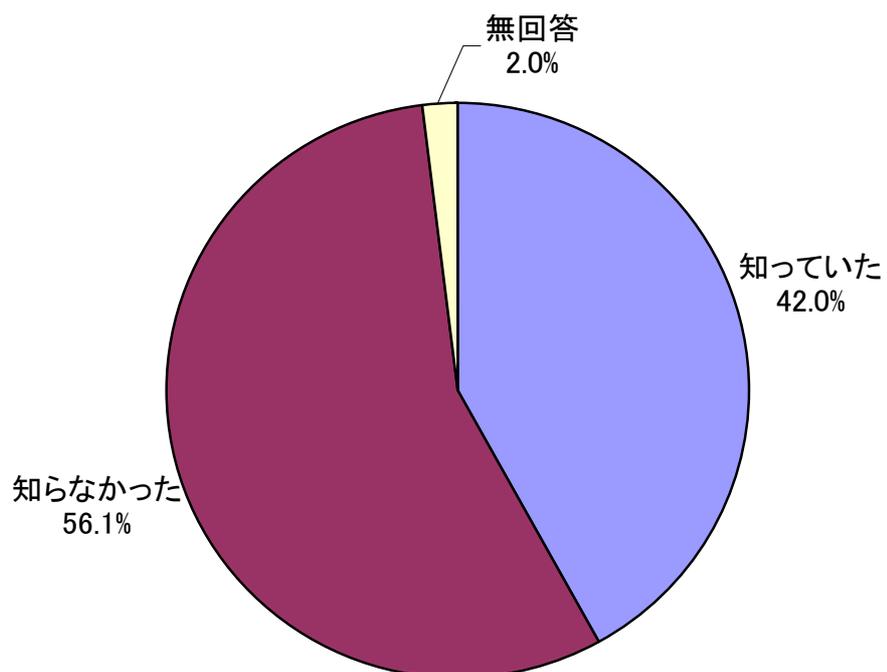


項目	回答数(人)	割合(%)
ほぼ毎日食べる	146	57.3
週に4~5日食べる	48	18.8
週に2~3日食べる	36	14.1
週1日食べる	7	2.7
ほとんど食べない	12	4.7
無回答	6	2.4
合計	255	100

13-1 地域包括支援センターを知っていたか

問12 (単一選択)

あなたは、地域包括支援センターを、「くるモニ」に参加する前から知っていましたか。

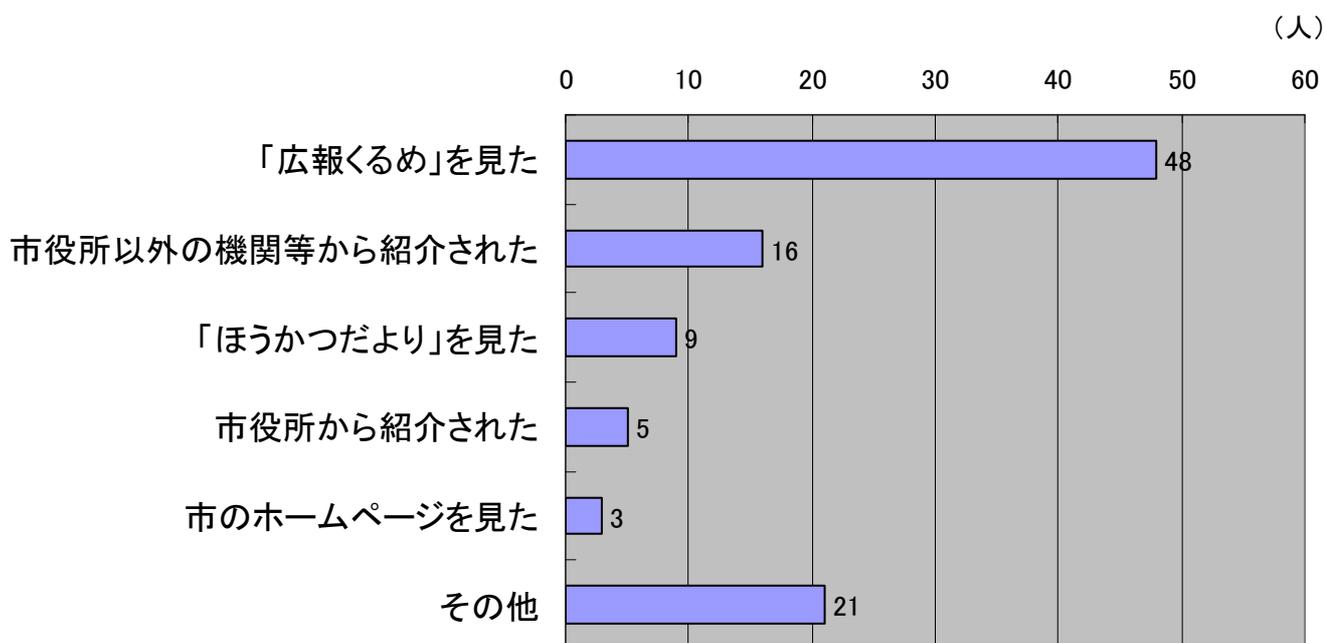


項目	回答数(人)	割合 (%)
知っていた	107	42
知らなかった	143	56.1
無回答	5	2
合計	255	100

13-2 地域包括支援センターをどこで知ったか

問12付問1（単一選択）

問12で「知っていた」と回答された方におたずねします。どのようにしてお知りになりましたか。

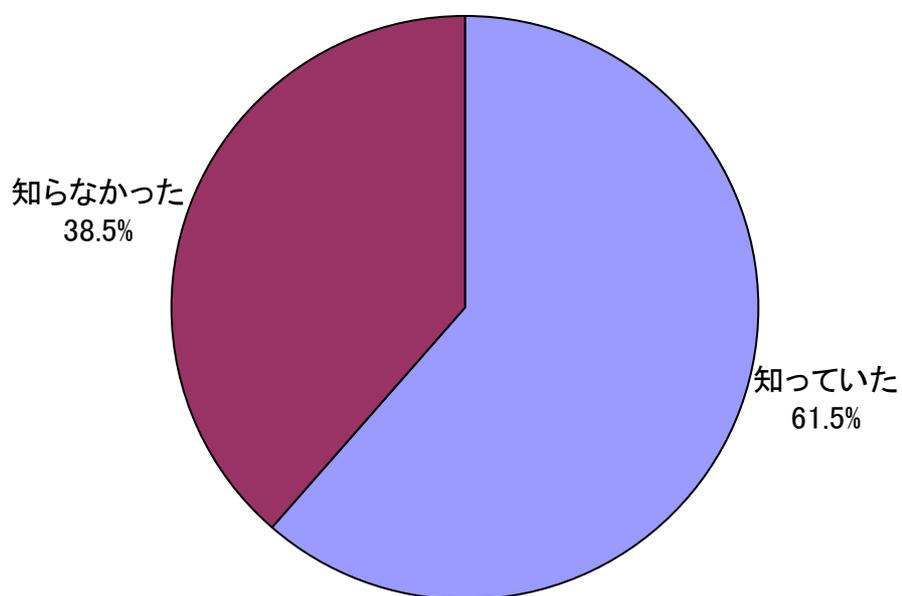


区分	件数	割合
「広報くるめ」を見た	48	18.8
市役所以外の機関等から紹介された	16	6.3
「ほうかつだより」を見た	9	3.5
市役所から紹介された	5	2
市のホームページを見た	3	1.2
その他	21	8.2
全 体	255	100

13-3 校区の地域包括支援センターがある場所を知っていたか

問12付問2（単一選択）

問12で「知っていた」と回答された方におたずねします。お住まいの小学校区を担当する地域包括支援センターがある場所を、あなたは、「くるモ二」に参加する前から知っていましたか。

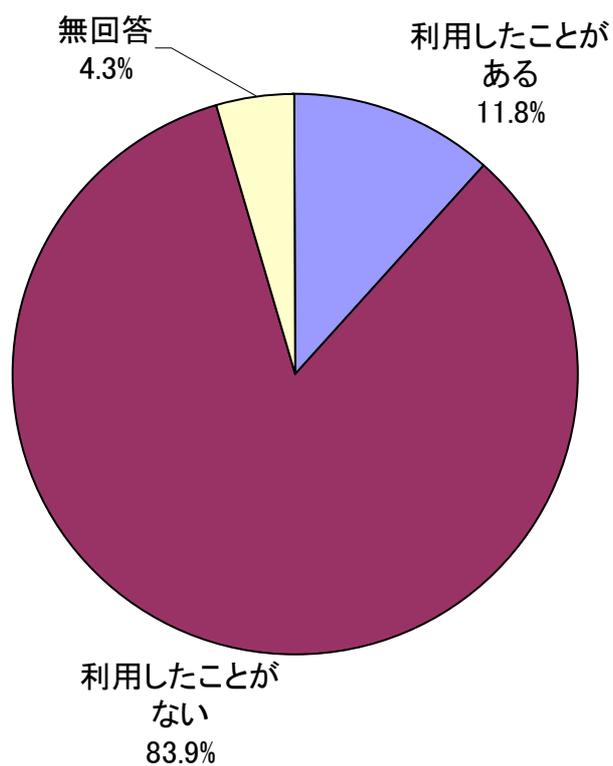


項目	回答数(人)	割合 (%)
知っていた	67	61.5
知らなかった	42	38.5
合計	109	100

14-1 地域包括支援センターを利用したことがあるか

問13 (単一選択)

地域包括支援センターを利用したことがありますか。

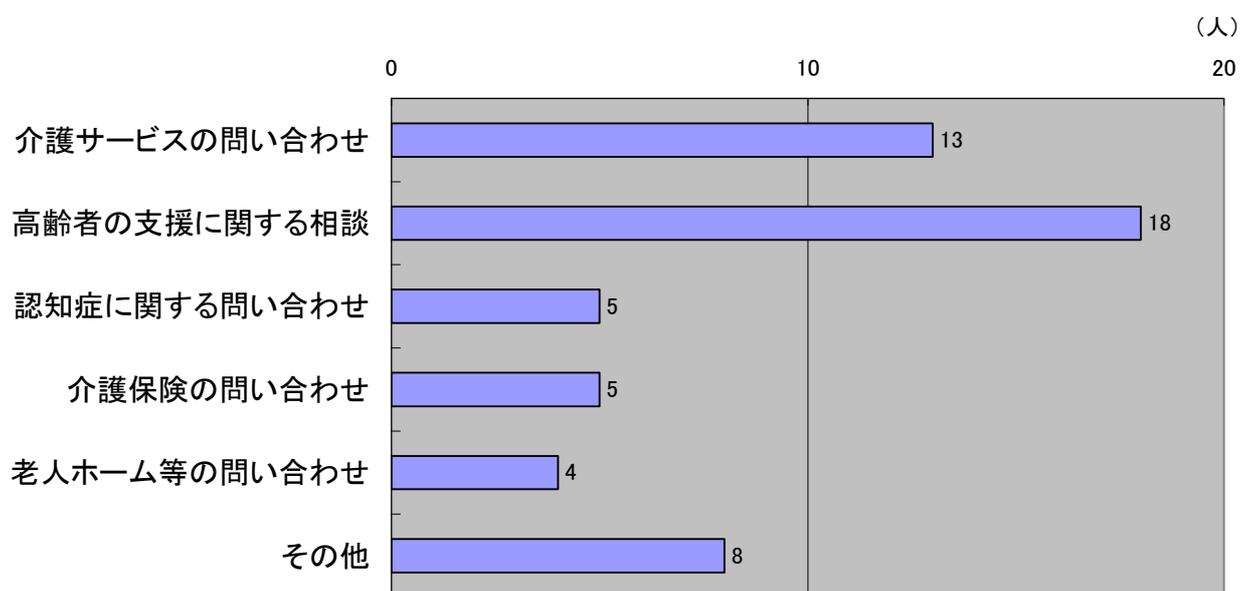


項目	回答数(人)	割合(%)
利用したことがある	30	11.8
利用したことがない	214	83.9
無回答	11	4.3
合計	255	100

14-2 地域包括支援センターを利用した目的

問13付問1（複数選択無制限）

問13で「利用したことがある」と回答された方におたずねします。
どのような目的で利用されましたか。

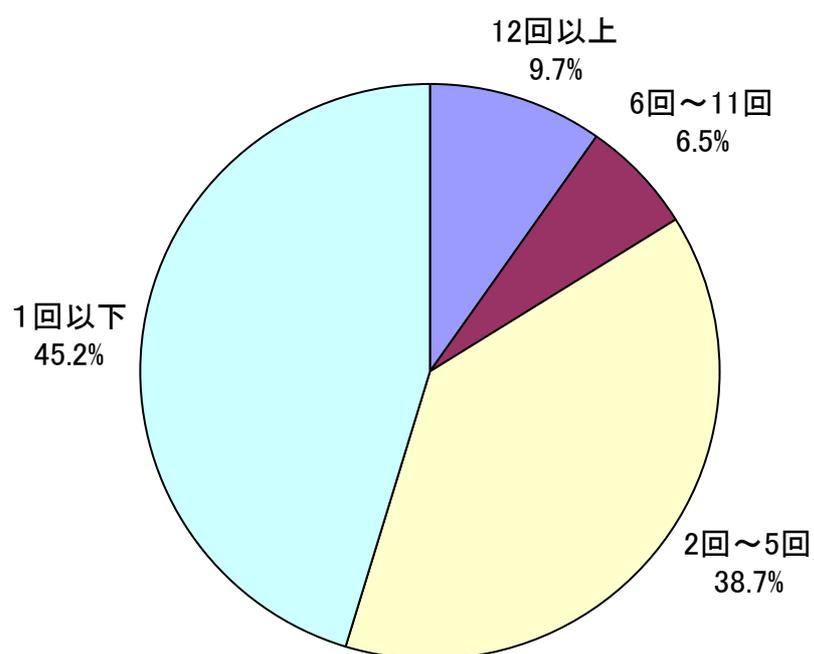


区分	件数	割合
介護サービスの問い合わせ	13	5.1
高齢者の支援に関する相談	18	7.1
認知症に関する問い合わせ	5	2
介護保険の問い合わせ	5	2
老人ホーム等の問い合わせ	4	1.6
その他	8	3.1
無回答	225	88.2

14-3 地域包括支援センターの利用頻度

問13付問2（単一選択）

問13で「利用したことがある」と回答された方におたずねします。
この1年くらいの間で、どの程度利用していますか。

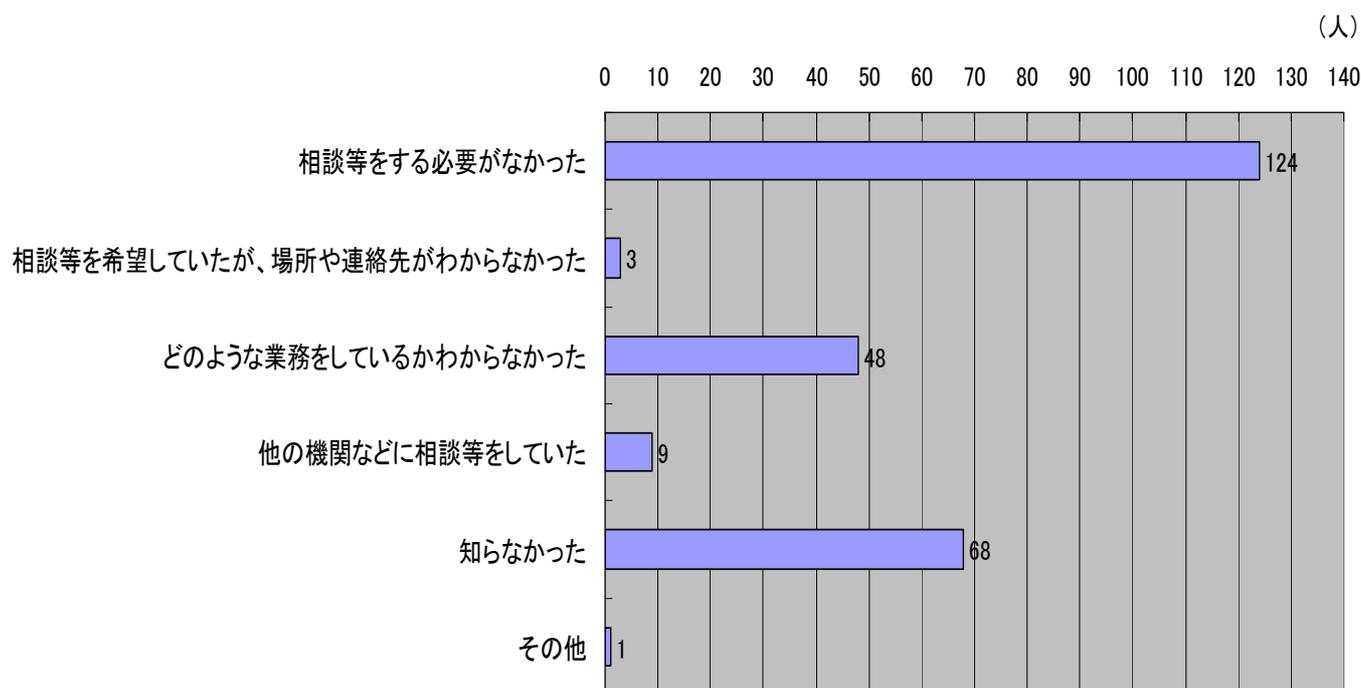


項目	回答数(人)	割合(%)
12回以上	3	9.7
6回～11回	2	6.5
2回～5回	12	38.7
1回以下	14	45.2
合計	31	100

14-4 地域包括支援センターを利用しなかった理由

問13付問3（複数選択無制限）

問13で「利用したことがない」と回答された方におたずねします。
利用しなかった理由はどのようなことですか。



区分	件数	割合
相談等をする必要がなかった	124	48.6
相談等を希望していたが、場所や連絡先がわからなかった	3	1.2
どのような業務をしているかわからなかった	48	18.8
他の機関などに相談等をしていた	9	3.5
知らなかった	68	26.7
その他	1	0.4

(B) 『くるめ米』を知っていましたか。

- 1 知っていた
- 2 知らなかった

「くるめ米」は減農薬・減化学肥料、
完熟堆肥にこだわって栽培されたお米
です。



【 特別栽培米 『くるめ米』 】

問3 本市では久留米産農産物のうち、全国有数の産地である『リーフレタス』について、平成26年度よりブランド化の取り組みを推進しています。次の中で、『リーフレタス』のブランド化の取り組みについて、あなたが「くるモニ」に参加する前から、知っていたものはありますか。

(あてはまる番号にいくつでも○印)

- 1 農業まつりなどの農業イベントでのPR
- 2 大阪での市長によるトップセールス（市場関係者などへのPR）
- 3 リーフレタスの『アイデアレシピコンテスト』（久留米商工会議所が主催）

問4 『キラリ久留米』や『くるっば』のロゴマークを農産物や農産加工品の包装資材等に表示し、久留米産農産物の認知度向上、ブランド化に取り組んでいます。

あなたは、農産物や農産加工品に表示している『キラリ久留米』または『くるっば』を、「くるモニ」に参加する前から、見たことがありましたか。(あてはまる番号に1つだけ○印)

- 1 見たことがあり、久留米産の目印であることも知っていた
- 2 見たことはあるが、久留米産の目印であることは知らなかった
- 3 見たことがなかった

【 農業と普段の生活との関わりについておたずねします 】

問5 あなたは日常の食生活で、久留米産農産物を食べるように意識していますか。

(あてはまる番号に1つだけ○印)

- 1 意識している
- 2 どちらかといえば意識している
- 3 どちらかといえば意識していない
- 4 意識していない

問6 久留米市では、市民の皆さんが身近なところで地産地消に取り組める機会を増やすために、「地産地消推進店」を募集・登録し、パンフレットなどでお知らせしています。あなたは、「くるモニ」に参加する前から、「地産地消推進店」を知っていましたか。(あてはまる番号に1つだけ○印)

1 知っていた

2 知らなかった

次ページ付問へ

付問 問6で「1 知っていた」と回答された方におたずねします。利用したことがある地産地消推進店を教えてください。(あてはまる番号にいくつでも○印)

- | | |
|-------|----------------------|
| 1 小売店 | 4 農産物直売所 (道の駅くるめを含む) |
| 2 朝市 | 5 菓子・パンなどの製造販売店 |
| 3 飲食店 | 6 知っているが利用したことはない |



※ 地産地消とは

「地域で生産されたものを、その地域で消費すること」をいいます。

※ 地産地消推進店とは

久留米産の農産物を使った加工品を積極的に販売・活用する店舗等で、現在 365 店舗が登録されており、左の「食べてにっこりお米のマーク」が目印です。

問7 田んぼや畑には、洪水を防止する、暑さをやわらげる、多くの生物を育むなどの多面的機能(農業・農村の多面的機能)があることを、あなたは、「くるモニ」に参加する前から知っていましたか。

(あてはまる番号に1つだけ○印)

- | | |
|---------|----------|
| 1 知っていた | 2 知らなかった |
|---------|----------|

※「農業・農村の多面的機能」とは

農業や農村地域は、農作物を生産する役割だけでなく、私たちの生活に様々な『めぐみ』をもたらしています。水田は雨水を貯蔵し、洪水や土砂崩れを防止したり、多くの生物を育みます。また、美しい農村地域の景観は私たちの心を和ませてくれます。これらの役割を農業・農村の持つ多面的機能といいます。



【農業・農村の多面的機能のイメージ図

出典:農林水産省ホームページ】

問8 久留米市が、これらの多面的機能を維持・保全するための政策に取り組むことは重要だと思いますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 そう思う | 3 どちらかといえばそう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 4 そう思わない |

【食育についておたずねします】

問9 あなたは、「食育」という言葉やその意味を、市政アンケートモニター「くるモニ」に参加する前から、知っていましたか。
(あてはまる番号に1つだけ○印)

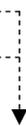
- 1 言葉も意味も知っていた
- 2 言葉は知っていたが、意味は知らなかった
- 3 知らなかった

※「食育」とは

様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、自然の恩恵や「食」に関わる人々への感謝の念を深め、健全な食生活を実践することができるように取り組むことです。

問10 あなたは、「食育」に関心がありますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 関心がある | 3 どちらかといえば関心がない |
| 2 どちらかといえば関心がある | 4 関心がない |



付問 問10で「3 どちらかといえば関心がない」「4 関心がない」と回答された方におたずねします。関心がない理由を教えてください。

(あてはまる番号にいくつでも○印)

- 1 食育に関する具体的な情報がないから
- 2 食事に気を使う時間の余裕がないから
- 3 食育を重要なことと思わないから
- 4 その他 ()

問11 市では栄養バランスの良い健全な食生活を実践する食育を推進しています。あなたは、1日に2回以上、主食・主菜・副菜をそろえて食べることが、週に何日ありますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)

※ 「主食」とは、米、パン、めん類などを使った料理です。

※ 「主菜」とは、魚や肉、卵、大豆製品を使った副食の中心となる料理です。

※ 「副菜」とは、野菜、海藻などを使った料理です。

- | | |
|-------------|------------|
| 1 ほとんど毎日食べる | 4 週1日食べる |
| 2 週に4～5日食べる | 5 ほとんど食べない |
| 3 週に2～3日食べる | |

【地域包括支援センターについておたずねします】

問12 あなたは、地域包括支援センターを、市政アンケートモニター「くるモニ」に参加する前から、知っていましたか。(あてはまる番号に1つだけ○印)

- | | |
|---------|----------|
| 1 知っていた | 2 知らなかった |
|---------|----------|

→付問1 問12で「1知っていた」と回答された方におたずねします。どのようにしてお知りになりましたか。(あてはまる番号に1つだけ○印)

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1 「広報くるめ」を見た | 4 市役所から紹介された |
| 2 「ほうかつだより」を見た | 5 市役所以外の機関等から紹介された |
| 3 市のホームページを見た | 6 その他 () |

→付問2 問12で「1知っていた」と回答された方におたずねします。お住まいの小学校区を担当する地域包括支援センターがある場所を、あなたは、「くるモニ」に参加する前から知っていましたか。

(あてはまる番号に1つだけ○印)

- | | |
|---------|----------|
| 1 知っていた | 2 知らなかった |
|---------|----------|

問13 地域包括支援センターを利用したことがありますか。
(あてはまる番号に1つだけ○印)

1 利用したことがある

2 利用したことがない

付問3へ

▶ 付問1 問13で「1利用したことがある」と回答された方におたずねします。どのような目的で利用されましたか。(あてはまる番号にいくつでも○印)

1 介護サービスの問い合わせ

4 介護保険の問い合わせ

2 高齢者の支援に関する相談

5 老人ホーム等の問い合わせ

3 認知症に関する問い合わせ

6 その他 ()

▶ 付問2 問13で「1利用したことがある」と回答された方におたずねします。この1年くらいの間で、どの程度利用していますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)

1 12回以上

3 2回～5回

2 6回～11回

4 1回以下

付問3 問13で「2利用したことがない」と回答された方におたずねします。利用しなかった理由はどのようなことですか。(あてはまる番号にいくつでも○印)

1 相談等をする必要がなかった

2 相談等を希望していたが、場所や連絡先がわからなかった

3 どのような業務をしているかわからなかった

4 他の機関などに相談等をしていた

5 知らなかった

6 その他 ()

問14 地域包括支援センターについて、ご意見やご要望などがあれば自由にご記入ください。

[]



ご多忙のところ調査にご協力いただき、本当にありがとうございました。

平成27年度 市政アンケートモニター「くるモニ」
第7回「食と農への理解促進、地域包括支援センター利用促進」
アンケート調査結果
平成28年5月

編集・発行／久留米市 協働推進部 広聴・相談課
久留米市城南町15番地3
TEL. 0942-30-9015
FAX. 0942-30-9711
E-Mail. sodan@city.kurume.fukuoka.jp